

感染症発生状況

令和6年6月13日

各保育施設の長様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

令和6年6月3日（月）～6月7日（金）の定点における発生状況をお知らせします。

定点23園の対象園児数（定員）は2,690名です。

この週の延べ欠席者数 【園児】 385名 【職員】 6名

1日あたりの延べ欠席者数 【園児】 77名

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

【園児】 症状別：熱（152名）、咳・鼻水（74名）、下痢・腹痛（22名）、嘔気・嘔吐（13名）

疾病別：気管支炎・肺炎（22名）、溶連菌感染症（18名）、胃腸炎（11名）、
新型コロナウイルス感染症（5名）

【職員】 症状別：熱（2名）、咳・鼻水（1名）、頭痛（1名）

疾患別：溶連菌感染症（2名）

**全国的に溶連菌感染症が増えています。
幸い劇症型溶連菌感染症は岩手のこどもでは発生していません。
傷の洗浄消毒を気をつけて行ってください。**

【症状別の発生状況】

気管支炎・肺炎	玉山地区、河北地区、河南地区、都南地区で増加しました。
溶連菌感染症	厨川地区、河北地区、盛南地区、都南地区で増加しました。
胃腸炎	厨川地区、河北地区、盛南地区で増加しました。 都南地区で減少しました。
新型コロナウイルス感染症	厨川地区、河北地区で減少しました。

【県の状況（5/27～6/2）】

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は減少し、定点あたり患者数は4.98人となりました。奥州地区で警報値である8人を超えています。全国的に多くなっています。発熱や全身倦怠感、咽頭痛を主症状とする細菌感染症です。本菌の感染により稀に引き起こされる劇症型溶血性レンサ球菌感染症では、急性腎不全や多臓器不全等により死亡することもあるので注意が必要です。予防には手洗いやうがいの励行のほか、傷口の清潔保持が重要です。深い傷や発赤炎症のある傷の時は、早めの医療機関での受診をお勧めします。

咽頭結膜熱は増加し、定点あたり患者数は2.35人となりました。中部、奥州、一関及び宮古地区で警報値である3人を超えています。本症は発熱、咽頭炎、眼症状を主訴とする小児の急性ウイルス性感染症です。予防には患者との密接な接触を避け、タオルは共用せず、流水と石けんによる手洗いを励行することが重要です。

新型コロナウイルス感染症は減少し、定点あたり患者数は2.70人となりましたが、県内のクラスターの発生は多く、9件でした。内訳は高齢者施設7件、福祉事業所と医療施設が各1件でした。引き続き、手洗い、咳エチケット等基本的な感染予防対策の確認をお願いします。

◆岩手県新型コロナウイルス感染症関連情報

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/iryuu/covid19/index.html>

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会
電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話613-8347（ダイヤルイン）ファックス652-3424】